

Fusyo Collaboration letter



9月19日

No.26

文責 廣田 秀俊

対話のある学校評議員会へ

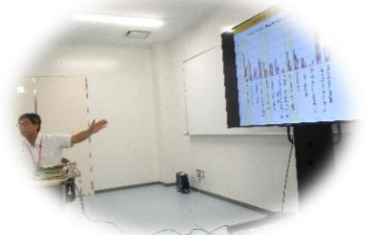
附属小学校では学校評議員会を次のように年3回開催しています。

第1回(5月):学校教育方針・校内研究・学校評価についての説明

第2回(9月):教育実習・学力検査結果・学校の現状についての説明

第3回(2月):附属小児童との懇談・学校評価総括

経営方針としては、学校教育目標“グローバルリーダーの育成”を掲げ、FUSYO VISIONの実施内容項目を重点項目として取り組んでいます。



9月12日(金)に開催された第2回目の学校評議員会では、実習生の授業を参観してもらい、本校の実習の実践についての説明から意見交換を行っていききました。また今年度の学力調査の結果を受けての貴重なご意見をいただきました。

参加された方は、元中津市教育長 栗田英代様、附属小学校後援会副会長 宮永尚様、別府大学学生部事務部長 村上健様の3名です。



【教育実習について】

- ・板書指導案作成で授業の予想ができやすくなる 時間配分まで見通しを持つとよい
- ・実習生の英語の授業のなかで、わからないことが言い合えるような共有時間があるとよい
- ・附属の実習は教育とは何かを教えてもらえるもの:技術の習得・教育の本質の理解
- ・板書や声の出し方に課題がある 子供に受け止めてもらうための工夫が必要
- ・実習生の授業は、子供が逃げていない授業だった 皆が授業に向かっていた



【学力検査の結果について】

- ・学力をつけていくなかで、根拠を書かせるのは継続して行っていくなくてはならないもの
- ・自分と違う意見について考えるのが楽しい、と答えられる児童の育成が浸透している
- ・多様性がないとその組織は発展しない
- ・意見の出し合いやグループでの話し合いを、何のためにするのかをよく理解している
- ・教師の認めや話し合い活動が、児童一人一人の自己肯定感へつながっている

【学校の現状について】

- ・夏の暑さ対策が必要 運動会開催時期の検討も必要ではないか
- さまざまな貴重なご意見を今後の学校教育にいかしていきます。

